

納期遅延・出図遅れを減らす！

セミナーご案内 関連部署へご回覧願います

コロナ感染 予防対応！	<b>製品開発を高度化する プロジェクトマネジメント実践講座</b> ～設計リードタイム短縮、納期管理のコツ、標準プロセス構築のポイント～
WEB受講 可能！	

- ◆日時：2024年6月13日(木) 10:00～17:00
- ◆会場：TH企画セミナールームA ※会場/WEB 選択可 (東京・JR田町駅下車 徒歩約6分)
- ◆受講料：(消費税等込) 1名:49,500円  
同一セミナー 同一企業同時複数人数申込の場合 1名:44,000円
- ◆受講資料：製本テキスト(受講料に含)  
※別途テキストの送付先1件につき、配送料1,210円(内税)

**納期遅延の原因や対策、開発管理のポイント、QCDのバランスをとったプロジェクトマネジメント、標準プロセスの構築ポイントについて、事例を交え、実践的にわかりやすく解説する特別セミナー！！**

**【講師の言葉】**

「納期遅れが減らない」「受注時の想定工数から大幅に超えてしまう」「納期優先で原価検討が後回しになる」など、製品のQCDのコントロールが難しくなっています。それに対応するために、設計開発プロセスの「見える化」や詳細なタスク管理、厳密な納期管理を行っても問題が解消されないことが多いです。なぜ納期遅れが減らないのでしょうか。しっかり・きっちりの納期管理を行っても、設計者にとって負担でしかなく、逆に工数が増えてしまうのです。

プロジェクトマネジメントの成功要因は、設計者にとって「管理させられる」ものではなく、自分たちに有益な【技術の蓄積】というコンセプトが重要となります。技術的な経緯/根拠、設計思想を見える化することを実現しつつ、その上で納期遅延や工数象を抑制するための管理をしていく必要があるのです。

本講座では、このようなコンセプトを実現させるための、製品の品質/原価/納期管理の考え方、管理手法、プロセス標準や技術標準の整備方法、それらを支えるテクノロジー(設計システム)についても解説いたします。管理のための管理、管理の泥沼化に終止符を打ち、製品開発高度化・納期短縮・コスト削減を実現させる方法を学んでください。

- 【受講形式】 会場・WEB \*WEB受講はLive配信のみ(録画視聴はありません)
- 【受講対象】 ・開発/設計部門 ・開発管理/設計管理部門  
・経営企画・事業企画など企画担当の方 ・改革推進部門  
・情報システム部門

【予備知識】 特に必要ありません。

- 【習得知識】 1) 納期遅延の原因や対策を理解できる  
2) 開発管理のポイントが理解できる  
3) QCDのバランスをとったプロジェクトマネジメントが理解できる  
4) 標準プロセスの構築ポイントが理解できる など

【進呈】 講師著書：儲かるモノづくりのためのPLMと原価企画：設計・製造・会計の連携がもたらす新しい経営手法(東洋経済新報社)を受講者の皆様へ進呈します。



●申込書・2024年6月13日(木)「製品開発を高度化するプロジェクトマネジメント実践講座」

会社名	〒	住所
TEL		FAX
正式所属		正式所属
受講者名		受講者名
E-mail		E-mail
振り込み 予定		通信欄

◆ プログラム ◆

【講師】 株式会社プリベクト 代表取締役 北山 一真 先生

IT系コンサルティング会社、製造業系コンサルティング会社ディレクターを経て

I. プロジェクト管理が上手い/かからない理由

- (1) なぜ計画通りに行動しないのか?
- (2) なぜ進捗管理が難しいのか?
- (3) なぜ納期遅れがなぜ起きるのか?
- (4) 今までの納期遅延対策のどこに問題があるか?
- (5) プロジェクトの前半と後半で対策を分ける必要性とは?

II. 業務フローの整備ポイント

- (1) 業務フロー可視化/活用のポイント
  - ・業務フローの粒度の決め方 (進捗管理に適した粒度とは)
  - ・部門間の影響が見える化する
  - ・業務フローをリードタイム短縮に活かす方法
  - ・効果的なフロントローディングに活かす方法
- (2) 業務フローの見える化で大切なこと
- (3) マイルストーン管理/タスク管理/ToDo管理を使い分ける

III. 納期遅延を起こさないためのプロジェクト管理

- (1) 詳細なタスク管理では納期遅れは防げない
- (2) 前工程を言い訳にさせない管理方法
- (3) 着手管理という未然防止対策

- (4) ずさんになりがち変更の納期管理
- (5) メーカーや外注設計などの外部とのやり取りの納期管理

IV. 原価/品質視点でのプロジェクト管理

- (1) 原価管理
  - ・予算のあり方を見直して、原価検討の手戻りを減らす
  - ・コストフォローの方法を見直す
- (2) 品質管理
  - ・流用設計の問題点を理解する (標準設計への移行)
  - ・2種類の過剰をコントロールする

V. システムを用いた納期管理/タスク管理の実践

- (1) 担当者が嫌がらない納期管理システムのコンセプトとは
- (2) 納期管理システムのポイントは、設計成果物管理にある
- (3) タスク(成果物)のステータス管理で状況の把握をする
- (4) クラウドを利用し、社外も巻き込んだ納期管理

質疑・応答

◆セミナーお申込要領

●申し込み方法

- ・弊社ホームページの申込欄又は、FAXかE-mailにてお申し込みください。
- ・折り返し、受講票、請求書、会場案内図をお送り致します。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルは、お受け致しかねますので、必要に応じ代理の方のご出席をお願いします。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

●お支払い方法

受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。経理上、受講料のお支払いがセミナー開催後になる場合は、お支払日をお知らせ願います。振り込み手数料は御社の御負担にてお願いします。

●申込先 TH企画 セミナーセンター  
株式会社 TH企画

〒108-0014 東京都港区芝4-5-1 11-5F  
TEL: 03-6435-1138  
FAX: 03-6435-3685  
E-mail: th@thplan.com

検索 TH企画 → サイト内検索 0613 (開催日)

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

<https://www.thplan.com/>